

第52回例会

2016.1.30(土) 19:00~21:00 (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円 (研修医・学生無料)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

第52回 演者

日本歯科大学生命歯学部 口腔外科学講座
准教授

松野 智宣先生

日本歯科大学新潟歯学部 卒業

日本口腔外科学会 専門医・指導医

日本抗加齢医学会 専門医

ICD(Infection Control Doctor)

日本歯科薬物療法学会 認定歯科医師

独法 医薬品医療機器総合機構専門委員

日本歯科医学会誌編集委員会 副委員長

独法 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員

第9回日本抗加齢医学会 優秀演題賞

第10回日本抗加齢医学会 研究奨励賞

第12回日本抗加齢医学会 優秀演題賞

第35回日本炎症・再生医学会 優秀演題賞

講演内容

「歯科から認知症予防を考える」

～認知症にならないために～

(抄録は裏面記載)

今回は抗加齢医学会等に在籍され、様々な賞を受賞されている同先生に、酸化ストレス障害、認知症の基礎知識と歯科との関連、さらに抗酸化療法による認知症予防に関する動物実験結果などの解説を交え、**歯科からの認知症予防について**ご講演頂きます。



会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み (お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科
担当: 安田
TEL／FAX／E-mailで承ります。

- TEL: 03-5767-7505
- FAX: 03-5767-7508
- E-mail: soushinkai.yasuda@gmail.com
- HP: http://iom-dental.net/

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。

ご協賛: メディア株式会社 様



第52回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加
(会場階下の中華にて 会費制)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL ()

FAX ()

歯科から認知症予防を考える ～認知症にならないために～

日本歯科大学 生命歯学部口腔外科学講座 准教授
松野 智宣

現在、要介護の原因の第1位は脳血管障害、そして第2位は認知症です。健康長寿の担い手でもある私たち歯科医師はこれらの疾患に関する知識を身につけていなければなりません。そして、歯科医療がこのような疾患の発症予防につながることを理解しておく必要があります。

そこで、本講演会ではいまだ根治的な治療法がない認知症を中心に、酸化ストレス障害について歯科から考えてみたいと思います。

認知症にはいくつかの原因疾患がありますが、その中で最も多いのがアミロイドβというタンパクの沈着によって脳が萎縮するアルツハイマー病です。近年、このような脳の萎縮は口腔との関連が次第に明らかになってきています。例えば、残存歯数が少ない人ほど脳の萎縮が進行していました。つまり、アルツハイマー型認知症の患者は喪失歯数が多いということです。さらに、アルツハイマー病モデルマウスの実験において、歯周病が認知機能を低下させたという報告もあります。

一方、高齢者がガムを噛むと、若年者より認知機能に関わる前頭前野の血流量が増えることが明らかになっています。平成22年度の厚生労働科学研究費を用いた研究報告では、年齢、治療疾患の有無、生活習慣(飲酒と喫煙)を考慮して、65歳以上で4年間の認知症発症率は、20本以上の歯がある人が2.9%、義歯を使用している人が7.3%、歯がほとんどなく義歯未使用の人が11.5%で、20歯以上ある人に比べ認知症発症リスクは1.9倍もありました。また、なんでも噛める人に対して、あまり噛めない人の発症リスクは1.5倍、さらにかかりつけ歯科医がいない人の発症リスクも、いる人の1.4倍でした。一方、アミロイドβの形成に酸化ストレスが関与することもわかってきました。

そこで、本講演では酸化ストレス障害、認知症の基礎知識と歯科との関連、さらに抗酸化療法による認知症予防に関するわれわれの動物実験結果などわかりやすく解説し、歯科からの認知症予防を考えてみたいと思います。